

21期生 合格体験記

山口大学経済学部

私が受験した山口大学の試験科目は小論文と書類審査だったため、9月頃から志望理由書と小論文を書き始めて、先生方に添削してもらいました。小論文は書き方のコツがつかめず、最初は苦勞しました。そのため、放課後も学校に残って小論文を書く練習をしました。また、新聞を読んで自分の知識を増やし、記事に対する自分の考えをまとめる練習をしました。それを繰り返すうちに記事のテーマと自分の考えとをうまくリンクさせて書くことができるようになりました。合計20回ほどの小論文を先生方に添削してもらいました。そのおかげで入試には自身を持って臨み、第1志望の大学に合格できました。これから小論文を利用する入試での受験を考えている人は、今から新聞を読んで知識を深めつつ、早めに小論文を書く練習を始めると良いと思います。

佐賀大学芸術地域デザイン学部

私が受験する大学の入試にはポートフォリオと模擬授業、面接がありました。

ポートフォリオは、部活動や授業で制作した作品や地域貢献活動に参加したことを中心にまとめました。そこで私は、一年次からの積み重ねが大切だということを実感しました。

模擬授業では作品制作があるのですが、何を作るかは当日にならないと分からなかったもので、私はいろいろな素材にふれて、流れや動きを出す練習をして素材に慣れるようにしました。当日は練習したことを活かしつつ、どれだけ他の人の作品よりも目立たせるかを考え制作しました。

面接は先生方だけでなく、友人にも協力してもらい、何を質問されても機転を利かせて答えられるように練習しました。そのおかげで思いもよらない質問をされた際も冷静に答えることができました。

このように多くの人の支えがあったからこそ合格することができたのだと思います。本当に感謝しています。

岡山大学経営学部夜間主

まず、小論文の対策として、文章を書くことに慣れるために、志望大学の過去問を解いたり他の大学の過去問を解いたりしました。小論文では時事問題が出ることが多いので、自分が受験する年に起こった社会問題はしっかり調べておいた方がいいです。また、「小論文これだけ！」という本が、問題と解答例が充実していて内容が結構良いので読むことをおすすめします。面接に関しては苦手だったので特に言えることはありませんが、とりあえず早めに志望理由などを考えて面接練習を始めておいた方がいいです。受験期に入るといろいろ大変なことがあります、合格した後の開放感は最高なので、合格できると信じて頑張ってください。

兵庫県立大学環境人間学部

私が今まで受験で取り組んできたことは、小論文と面接の対策です。

私がおこなった小論文の対策は、参考書を読んで書き方の基本を身につけてから学校で先生に添削してもらうことで書き方を学びました。また、最近の時事問題が小論文のテーマとして出題されることもあるので、最近のニュースには特に注意し、そのことに関しての自分の意見を考えるように心がけていました。また、私が受験する大学の小論文は英文だったので、英単語の暗記を重点的に行いました。

面接練習では、自分で考えたメモをそのまま暗記するのではなく、キーワードを覚えるようにしました。自分の伝えたいことをより明確にするため、そして、アドリブに慣れるためにも練習は何回もしたほうがいいと思いました。

自分の経験から後輩に言えることは、自分が行きたい大学について深く知り、その大学の出題傾向に合わせて対策することが重要だということです。できるだけ早い時期から対策を始めて大学の傾向をつかみ、それに対応できるようになってほしいと思います。

兵庫県立大学国際商経学部

私は総合学科である香寺高等学校に進学したことで幅広い夢を見ることができました。そして、なりたい自分に近づくために大学への進学を心に決めました。

1年生の頃は、まだ日本の大学についてあまり知らなかったので焦る気持ちは特にありませんでした。しかし、日本語が理解できていないことが、受験の時に大きな壁となるというはある程度予測していました。だから、自分ができることとして普段の勉強をきちんとするようにしました。苦手な科目の予習と復習が中心に平日は毎日3時間勉強していました。他の生徒と差をつけるために、長期休みに1日中勉強していたこともありました。

2年生のうちに志望大学をいくつか決めて、オープンキャンパスなどに参加したりもしました。3年生では志望理由書の書き方などをたくさんの先生方に確認していただき、何度も書き直しました。その結果、公募推薦入試で希望していた大学に合格することができました。

3年生になってから受験勉強しても手遅れです。3年生はとても忙しくなるので、受験勉強は今日から始めるべきだと思います。

鳥取環境大学経営学部

私が受験をする際にやっていて良かったと感じたことは、1年生の頃から色々なことに取り組んでいたということです。普段から検定試験に取り組んで資格を取得すると同時に生徒会活動をしていたために自分をアピールする材料が多く、入試当日に準備していなかった質問をされてもそれらを使って自分なりに答えることができました。

しかし、私は小論文の勉強に取り組む時期が遅かったので、試験直前に夜遅くまで練習しなくてはならなくなって大変でした。皆さんには夏休み前からこつこつと小論文対策することをおすすめします。そして、同じような問題が出題された時のために、解き終わった後はそのテーマについてノートにまとめておくと良いと思います。

私は合格発表の前は、合格できたかどうか結果が気になりとても不安でしたが、友人が「今まで頑張ってきたから大丈夫だ」と言ってくれました。皆さんの努力を見てくれる人は必ずいるので頑張ってください。

武庫川女子大学生生活環境学部

私は受験勉強を始める前に計画を二つ立てた。

1つは年間の計画で、夏休みまで基礎力をつけること、それ以降は赤本・標準・応用問題に取り組むようにした。

もう一つは、一週間ごとの計画で、単語を覚えたり、問題集を一冊終わらせたりした。夏休みは、苦手な分野と過去問でよく出題される分野を集中的に勉強した。英単語は忘れやすいので、毎日の隙間時間を使って勉強した。補習は毎日行って学習習慣をつけて生活リズムを整えた。夏休み以降はずっと赤本を解いて入試本番まで何回も繰り返した。

合格したときは嬉しかった。というより、落ちる心配がなくなって安心した。受験勉強を始めたら、周りの空気に流されないように実行できる計画を立て、それを徹底して、合格するまで頑張ってください。

兵庫大学看護学部

私は将来看護師を目指しているので、姫路大学の看護学看護学科のAO入試を受験し、合格しました。私は看護師になるため、3年次で看護基礎という授業を選択しました。この授業では姫路大学の先生の講義を聞くことができます。私はこの授業のおかげでこの大学の特徴や魅力に気づき、受験することにしました。私は、周りの人に助けをもらいながら小論文と面接の練習に励み、入試に備えました。入試本番では自分が経験してきたことや自分が思い描く将来像などをうまく試験官に伝えることができ、その結果、合格することができました。

入試は対策することがとても大切です。対策を繰り返すことで応用がきくようになるので、皆さんも目標に向かって早めに対策して頑張ってください。

私が志望校に合格するために取り組んできたことは3つあります。

1つ目は復習を徹底して、授業の内容をその日のうちに理解することです。私は自宅でワークの問題を解いたり、ノートを見返したりしていました。2つ目は小テストに真面目に取り組むことです。3つ目は自分で勉強時間を作ることです。私は電車通学をしているため、その合間の時間を使って勉強しました。

合格したときは、胸がドキドキして興奮を抑えることができませんでした。今までの努力が報われたという喜びで涙が溢れました。

これから受験に臨む後輩たちに向けてのメッセージは2つあります。1つ目は目標を決めることです。目標は大きくても小さくても大丈夫です。目標を達成する喜びを知ることで、勉強に対する意欲の向上に繋がります。2つ目はメリハリをつけることです。学ぶときは学び、遊ぶときは遊ぶことが大切です。